

木の祭り

まつ

りやく

(略)

にいみなんきち

新美南吉

なんて楽しいお祭りまつでしょう。ちようちようたちは木のまわりを大きなぼたん雪ゆきのように飛びまわって、つかれると白い花にとまり、おいしいみつをおなかいっぱいごちそうになるのであります。けれど光がうすくなつて夕がたになってしまいました。みんなは、

「もつとあそんでいたい。けどもうじきまつ暗くになるから。」

とため息をつきました。するとほたるは小川のふちへ飛とんでいって、自分じぶんのなかまをどっさり連つれてきました。一つ一つのほたるが一つ一つの花のなかにとまりました。まるで小さいちようちんが木にいっぱいともされたようなくあいでした。そこでちようちようたちはたいへんよろこんで夜よるおそくまであそびました。